

茨城県景気ウォッチャー調査結果（令和5年3月調査）

茨城県では、本県の景気に関する生の情報を得るために、県民から景気の状態を3か月ごとにアンケート形式で情報収集する県独自の景気ウォッチャー調査を平成14年から行っています。この度、令和5年3月の調査結果がまとまりましたので、概要を以下のとおり公表します。

1 調査結果

～ 景気の判断DIは現状、先行きともに前回調査から上昇 ～

☆ここがポイント

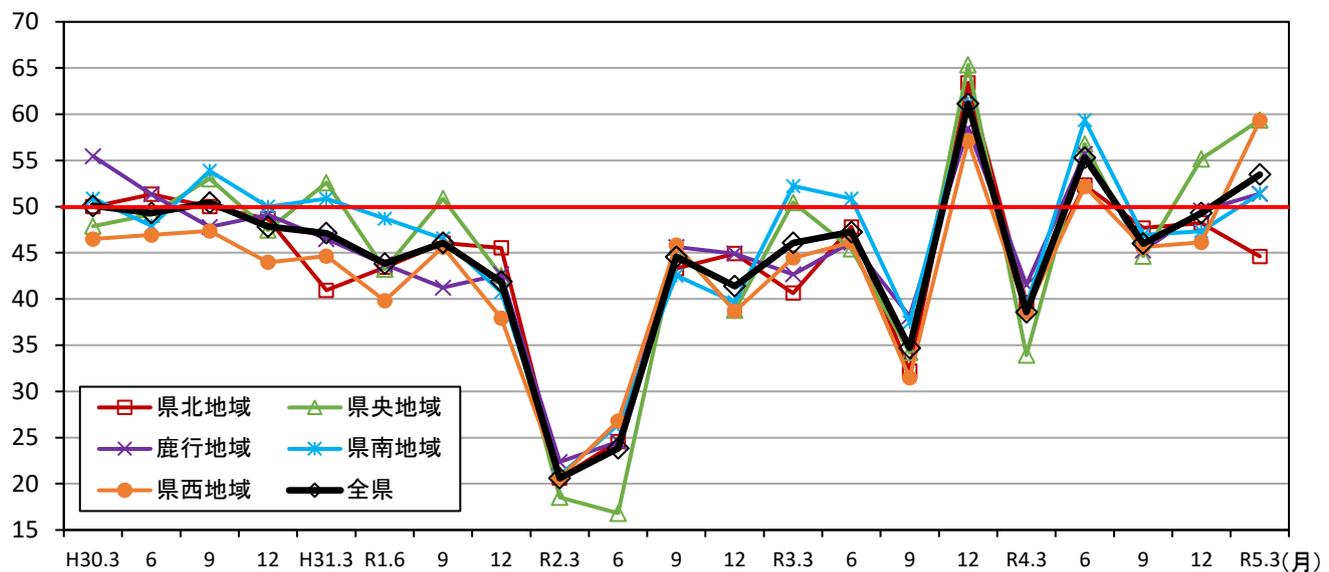
区分	景気現状判断DI		景気先行き判断DI		※DI(Diffusion Index) 景気動向を判断するために使用される指標の1つ。景気 directional (景気が上向きか下向きか) を見るもの。 本調査では、回答を5つの区分ごとに点数で表し、その点数を回答構成比(%)で乗じてDIを算出している。 <参考> DI値50超 : 上向き DI値50 : 横ばい DI値50未満 : 下向き
	3月調査結果	前回調査との差	3月調査結果	前回調査との差	
県全体	53.5	+4.2	55.8	+10.2	
県北	44.6	△3.6	53.9	+13.7	
県央	59.4	+4.2	60.7	+17.2	
鹿行	51.4	+1.8	53.7	+5.5	
県南	51.4	+4.1	56.6	+9.3	
県西	59.3	+13.2	53.8	+5.1	

○県全体の景気の判断DIは、現状、先行きともに前回調査から上昇し、3期ぶりに50を上回った。

○地域別では県北の現状のみ、分野別では企業動向関連の現状、先行きのみが前回調査を下回った。

○ウォッチャーからは、商品等の値上げや新型コロナウイルスに関するコメントが多く寄せられた。

(DI) 景気現状判断DIの推移（地域別）



[調査の概要]

- ・ 調査客体数 … 県内5地域（県北、県央、鹿行、県南、県西）ごとに60名、計300名。
- ・ 調査内容 … 3か月前と比較した現状及び3か月後の先行きの景気判断（「良い」「やや良い」「変わらない」「やや悪い」「悪い」の5択）とその判断理由（コメント）の回答を集計。
- ・ 調査時期 … 四半期（6、9、12、3月）毎に実施し、翌月公表。（今回調査期間：令和5年3月5日から20日まで）
- ・ 回答率 … 91%（300名中273名から回答）

(地域区分) 県北地域: 日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、大子町
 県央地域: 水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村
 鹿行地域: 鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、銚田市
 県南地域: 土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
 県西地域: 古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

〈参考〉

現状判断回答構成比

調査年月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
回答					
良くなっている	3.6%	7.1%	3.2%	4.9%	8.1%
やや良くなっている	15.1%	35.7%	20.9%	24.9%	29.7%
変わらない	30.9%	33.2%	40.8%	39.3%	36.6%
やや悪くなっている	32.7%	19.4%	27.0%	24.2%	19.4%
悪くなっている	17.6%	4.6%	8.2%	6.7%	6.2%

先行き判断回答構成比

調査年月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
回答					
良くなっている	2.9%	5.3%	1.1%	1.8%	8.4%
やや良くなっている	25.9%	32.5%	23.0%	18.2%	32.6%
変わらない	36.3%	30.7%	43.6%	47.0%	38.1%
やや悪くなっている	24.5%	26.5%	24.5%	26.7%	15.4%
悪くなっている	10.4%	4.9%	7.8%	6.3%	5.5%

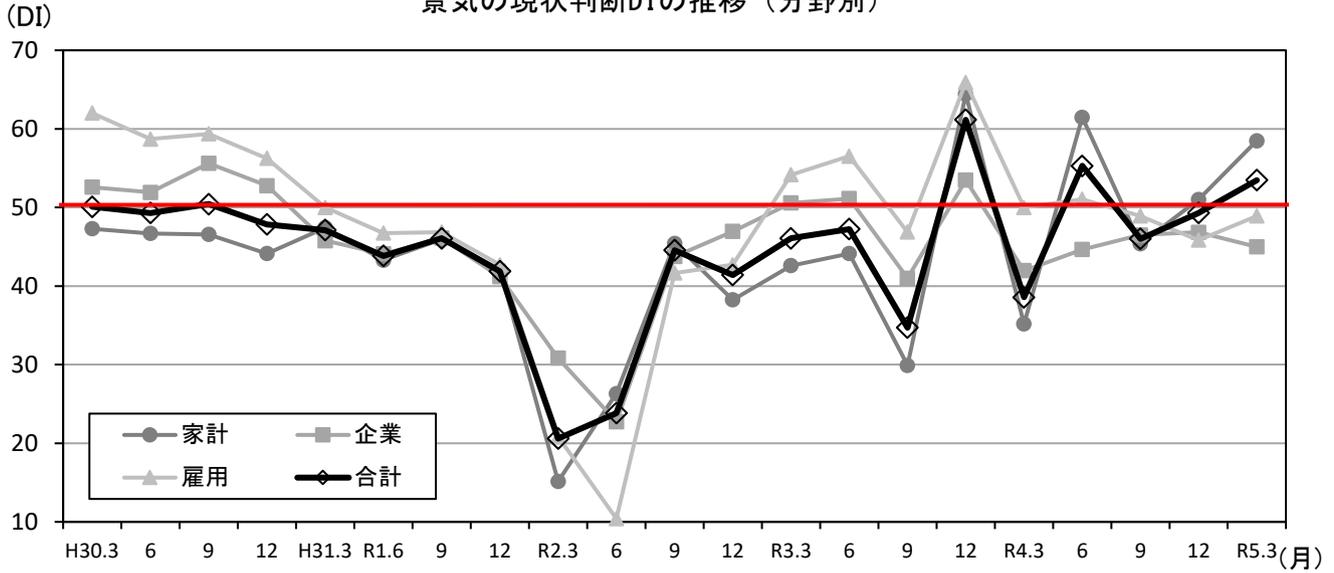
2 分野別の動向

(1) 現状判断DI

家計動向関連DIは、前回調査より7.5ポイント上昇し、2期連続で50を上回りました。
 企業動向関連DIは、前回調査より1.8ポイント低下し、5期連続で50を下回りました。
 雇用関連DIは、前回調査より3.1ポイント上昇したものの、3期連続で50を下回りました。

調査年月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
分野					
合計	38.6	55.3	46.0	49.3	53.5
家計動向関連	35.2	61.5	45.4	51.0	58.5
小売関連	33.6	54.9	40.8	44.6	49.6
飲食関連	27.2	68.8	41.3	65.5	68.1
サービス関連	38.5	67.0	51.6	53.0	65.1
住宅関連	40.6	46.9	36.1	50.0	52.8
企業動向関連	42.0	44.7	46.5	46.8	45.0
農林水産業	34.4	34.4	37.5	40.6	28.1
製造業	41.7	43.1	46.3	48.4	46.0
非製造業	44.1	49.3	49.2	46.1	47.7
雇用関連	50.0	51.0	48.9	45.8	48.9

景気の現状判断DIの推移（分野別）

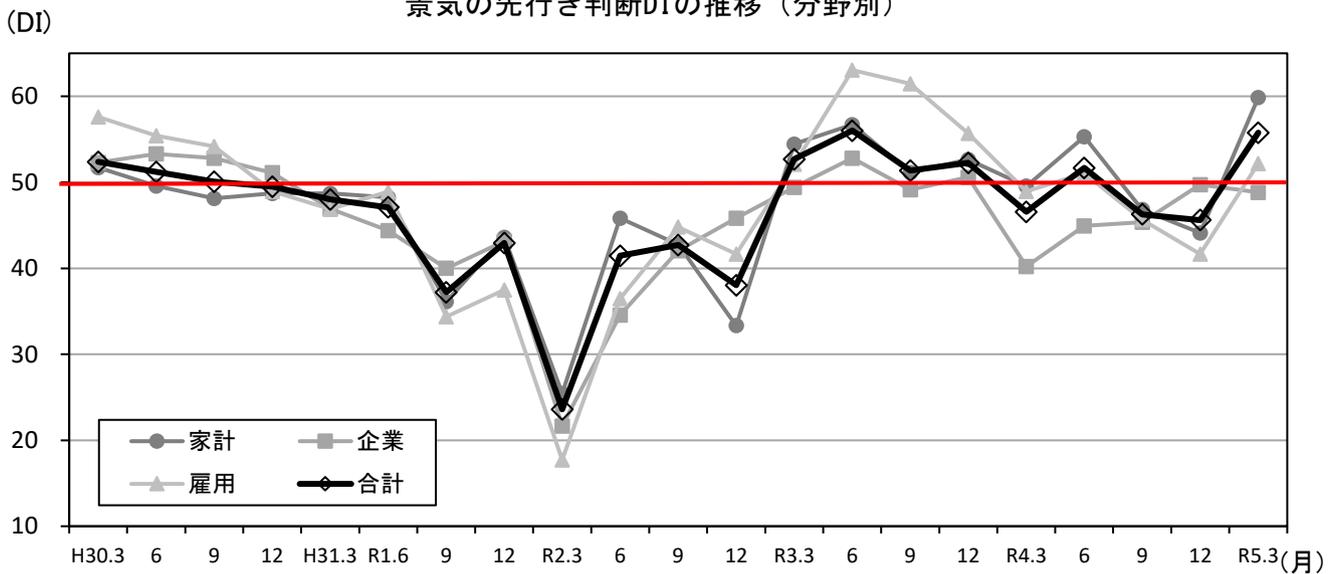


(2) 先行き判断DI

家計動向関連DIは、前回調査より15.7ポイント上昇し、3期ぶりに50を上回りました。
 企業動向関連DIは、前回調査より0.9ポイント低下し、5期連続で50を下回りました。
 雇用関連DIは、前回調査より10.5ポイント上昇し、3期ぶりに50を上回りました。

分野	調査年月	令和4年 3月	令和4年 6月	令和4年 9月	令和4年 12月	令和5年 3月
合計		46.6	51.7	46.3	45.6	55.8
家計動向関連		49.5	55.3	46.8	44.1	59.8
小売関連		48.4	47.0	40.4	41.4	54.9
飲食関連		46.6	71.3	52.5	47.6	66.7
サービス関連		52.1	61.0	51.3	45.9	63.7
住宅関連		43.8	31.3	44.4	41.7	52.8
企業動向関連		40.2	44.9	45.3	49.7	48.8
農林水産業		31.3	28.1	34.4	46.9	37.5
製造業		40.0	46.3	48.4	48.4	49.4
非製造業		42.6	47.1	43.5	52.3	50.8
雇用関連		49.0	51.0	45.7	41.7	52.2

景気の先行き判断DIの推移（分野別）



3 ウォッチャーのコメント抜粋

(1) 県北地域

① **現状判断:** 景気の現状判断DIは44.6となりました。前回調査より3.6ポイント低下して、横ばいを表す50を3期連続で下回りました。

- ・ (林業関係者) 物価高、動力光熱費の高騰による影響は、身近に感じ実感しているため、やや悪くなっていると判断した。
- ・ (小売業(酒類)) 期待していたが良くならない。得意先の飲食店の景気が以前のように戻っていないため、変わらないと判断した。

② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは53.9となりました。前回調査より13.7ポイント上昇して、横ばいを表す50を3期ぶりに上回りました。

- ・ (求人開拓員) 期間内で新型コロナウイルスも5類感染症に移行するであろうし、物価高も賃上げによる改善が期待されそう。管内企業からの求人増も期待出来るため、やや良くなっていると判断する。
- ・ (製造業(精密機器)) 受注状況は、同様の状況と考えている。現在まだ難入品があり、一部生産に影響を与えているが、徐々に解消に向かうと判断しているため、やや良くなっていると判断する。

③ 特徴的動き

- ・ (旅行会社) 秋に向けての情報が多くなってきているので、良い方向に進んでいると思う。
- ・ (求人広告) 物価高騰に対して、雇用の賃上げを体感出来る中小地方企業は少なく、新型コロナウイルスのダメージも相まって、全体的な体力の低下を感じる事が多い。

(2) 県央地域

① **現状判断:** 景気の現状判断DIは59.4となりました。前回調査より4.2ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期連続で上回りました。

- ・ (理・美容店) 新型コロナウイルスも少しずつ落ち着き、客の来店サイクルも戻って来つつあるため、やや良くなっていると判断した。
- ・ (運輸業) 徐々に顧客製品の出荷台数も増えてきているので、やや良くなっていると判断した。

② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは60.7となりました。前回調査より17.2ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期ぶりに上回りました。

- ・ (スーパー銭湯) 物価高などの影響が懸念されるが、新型コロナウイルスによる影響がなくなったことがまだ大きいので、良くなっていると判断する。
- ・ (公共職業安定所) 最新の指標(令和5年2月分)で新規求人数が前年同月比+28.6%と大幅に増加したため、3か月先も良くなっていると判断する。

③ 特徴的動き

- ・ (タクシー会社) 県内外からの観光問合せや予約依頼が増加傾向にある。また、高齢者の配車依頼も増えてきている。
- ・ (製造業(精密機械器具)) 現在コロナ禍の規制が順次緩和されているが、早くも海外の代理店から工場見学と弊社製品の研修に10数名で来社したいとの要望がある。ここ数年来途絶えていたので、隔世の感がある。

(3) 鹿行地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは51.4となりました。前回調査より1.8ポイント上昇して、横ばいを表す50を3期ぶりに上回りました。

- ・ (民間職業紹介業) 人材紹介依頼が順調に増えているため、やや良くなっていると判断した。
- ・ (小売業(薬品店)) 受診抑制が続いているのか、コロナ禍前には戻っていない。慢性の患者は今ままでおり通院していると思うが、軽い症状の患者の新患は売薬等で済ませているのか、新患があまり増えてこないため、変わらないと判断した。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは53.7となりました。前回調査より5.5ポイント上昇して、横ばいを表す50を3期ぶりに上回りました。

- ・ (洋食食堂) 徐々に飲食の機会が増えると思うので、やや良くなっていると判断する。
- ・ (製造業(一般機械器具)) 見積りの引き合いが増加しているが、4月から材料費の値上げが言われているため、変わらないと判断する。

③ 特徴的動き

- ・ (農産物直売所) 買控え、必要なもの以外は買わない、という客が増えていて、客単価が落ちている。
- ・ (公共職業安定所) 事業の廃業や、事業所の撤退の動きが見られるようになってきている。

(4) 県南地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは51.4となりました。前回調査より4.1ポイント上昇して、横ばいを表す50を3期ぶりに上回りました。

- ・ (学校就業関係者) 業務の関係から、製造業の求人票をよく目にするが、賞与が例年よりも高くなっている企業が多く、景気がやや良くなっていると判断した。
- ・ (小売業(生花店)) 例年、季節需要が増える時期だが、需要の増減は変化が感じられないため、変わらないと判断した。仕入単価が上昇していることで、販売価格の圧縮が難しく、そのために買控え発生が心配である。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは56.6となりました。前回調査より9.3ポイント上昇して、横ばいを表す50を3期ぶりに上回りました。

- ・ (ゴルフ場) 来場客が増えており、予約の入りも早く感じられるため、やや良くなっていると判断する。
- ・ (建設業) 新年度に入り、インフラ整備工事が発注されると思われる。若干上向きに動くと思われるため、やや良くなっていると判断する。

③ 特徴的動き

- ・ (スーパー) 鳥インフルエンザの影響はかなり大きく、全体の価格が高騰したため、レギュラー品から高級品へ利用がシフトしている。また卵を使用している加工食品は、人気商品ですら入荷がストップするなど影響が出ている。
- ・ (タクシー運転手) 街の活気が戻っている。外出者が増えている。

(5) 県西地域

- ① **現状判断:** 景気の現状判断DIは59.3となりました。前回調査より13.2ポイント上昇して、横ばいを表す50を3期ぶりに上回りました。

- ・ (レストラン) 来店客数が増えてきている。新型コロナウイルスについても、社会的に和らいできているからだと思うので、良くなっていると判断した。
- ・ (求人広告) 季節的な要因を除いても、昨年の受注単価が上がっており、若干ではあるが経済の回復傾向を感じるため、やや良くなっていると判断した。費用が発生することに関する抵抗感が少しだけ、下がっている気がした。

- ② **先行き判断:** 景気の先行き判断DIは53.8となりました。前回調査より5.1ポイント上昇して、横ばいを表す50を7期ぶりに上回りました。

- ・ (クリーニング店) 4月から暖かくなり繁忙期に入る。当然1月2月と比較しても数字的には良い。また前年と比較しても昨年夏より景気回復の兆しはあるため、やや良くなっていると判断する。
- ・ (建設業) 原材料の高騰がまだまだ続くと思われるので、景気は変わらないと思う。

③ 特徴的動き

- ・ (家電販売店) コロナ禍の落ち着きに伴い、店舗来店客数が下がり続けている。観光などレジャー関連に出費が向いているのではと感じる。
- ・ (求人開拓員) 人手不足を訴える企業(製造・医療関係の事業所)などから、当所の求人登録のための訪問があった。

(6) 多く寄せられたキーワード

以下では、ウォッチャーから寄せられた回答の中で多く見られたキーワードや、前回から増加したキーワードを含むコメントを掲載しています。

①「値上げ、高騰、上昇」に関するコメント 222件 (県北:46 県央:43 鹿行:42 県南:47 県西:44)

- ・ (不動産業) 電気代の高騰や物価高の影響で、例年と比べると客の動きが悪いため、悪くなっていると判断した。
- ・ (求人開拓員) 原材料価格や電気代、ガス代などの高騰により、家計は更に厳しさを増している。物価上昇を上回る賃上げが期待できなければ、家計は苦しい状況が続く恐れがある。

②「新型コロナウイルス」に関するコメント 112件 (県北:24 県央:30 鹿行:19 県南:15 県西:24)

- ・ (製造業(精密機器)) 新型コロナウイルスが、落ち着いてきていることにより、飲食店、観光業等の動きが活性化することで、仕事の受注も安定すると思うので、やや良くなっていると判断する。
- ・ (コンビニエンスストア) 新型コロナウイルスの心配は緩和されたが、物価、公共料金、税金等の家計圧迫により儉約するため、変わらないと判断する。

③「マスク」に関するコメント 28件 (県北:3 県央:6 鹿行:4 県南:8 県西:7)

- ・ (楽器販売) 現実にマスクが取れるようになって、それが日常になれば、合唱や吹奏楽などが活気を取り戻せるかと思う。それを期待して、やや良くなっていると判断する。
- ・ (ボウリング場) 3月13日のマスク着用の緩和に合わせるかのように、企業からの団体予約が増え始めた。一般客も増えてくると予想されるので、良くなっていると判断する。

(注) より詳しい情報については、当課ホームページを御覧ください。

<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>